

私は、今年の8月5日と6日に広島へ平和体験学習に行きました。今までで広島を訪れたのは今回が初めてでした。普段テレビで見ている原爆ドームや平和公園、たくさんの原爆に関する資料などを初めて自分の目で真近に見て、私の中での戦争・原爆のイメージが変わりました。テレビで見るときは本当になにげなく資料や当時の映像を見ていたけど、自分で見たときは、原爆の被害の大きさや悲惨さをまじまじと思い知らされました。資料の中には、当時のお弁当やカバンや服などがそのままの状態に残されていて、それらを見たときは本当にショックを受けました。資料館内には被爆者の方々が当時のことを話されている映像が流されていました。私は2人の方の映像を見て、物の資料とはまた別の思いが伝わってきました。原爆ドームは本当に骨組しか残っておらず思っていた以上に残酷なものでした。その近くを流れる川は当時はたくさんの方が亡くなった状態で水と共に流れていたとき、「今はこんなに美しい川なのに。」と少し信じられませんでした。

翌日の平和式典では多くの方がいて、その中には外国の方もたくさんいておどろきました。式典中、たくさんの方が原爆、平和について語っていて、「やはり平和が一番だ。」と改めて思いました。

私は今回の体験で、戦争・原爆の悲惨さ、残酷さを感じると共に、平和の大切さも強く感じました。普段、今の平和な世の中で生活していて、戦争を知らない私たちにとって、実際に広島へ行き、実際の資料、映像を見たりすることによって、少しでも多くの知識を得て、戦争の事をよく知ることができた今回の体験は、これからの私にとってとても良い経験になりました。今回の平和体験学習に参加することができてよかったです。